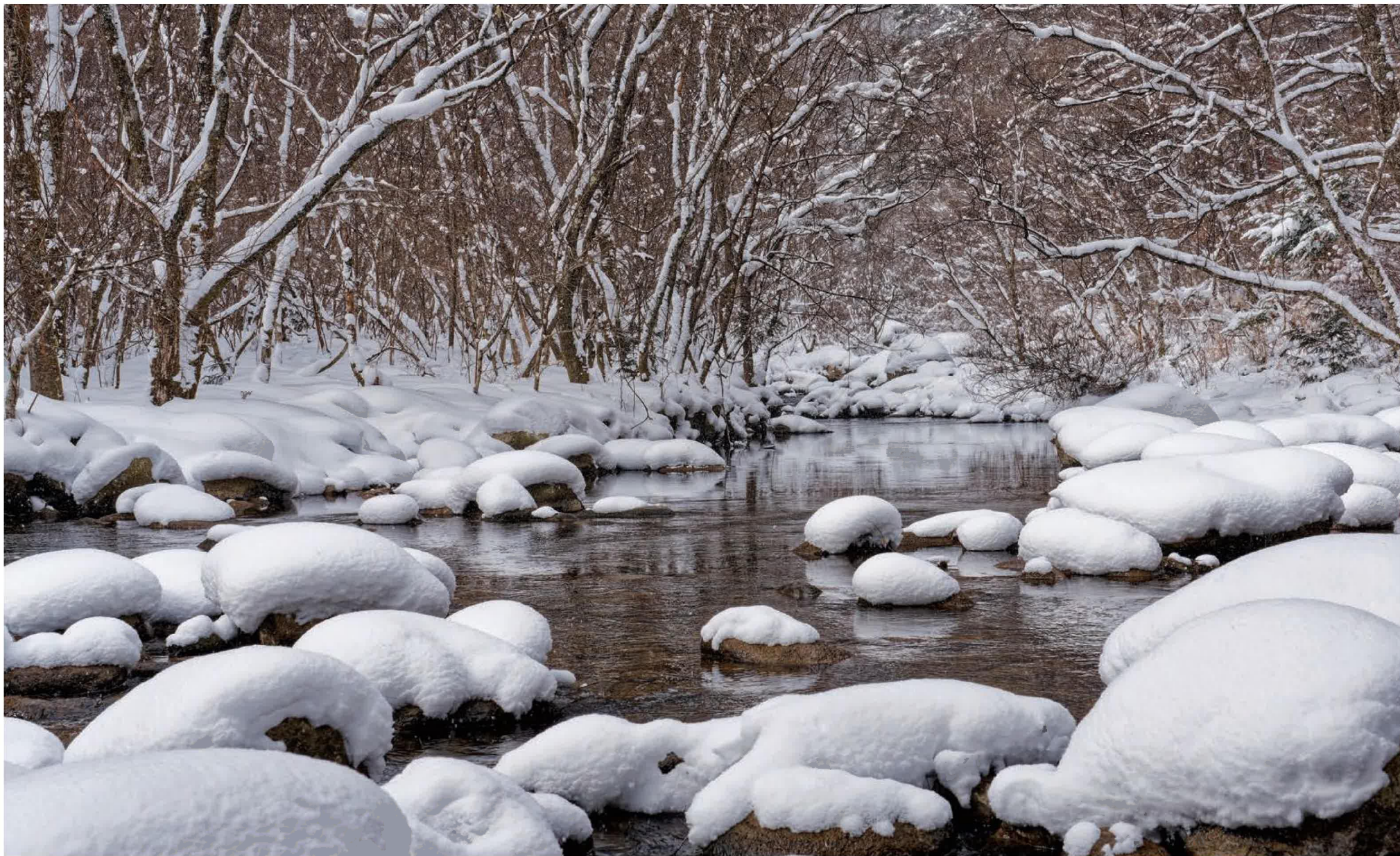




館報 まつかわ

松川町公民館報
第735号
令和7年2月15日

町の川 ⑥3 片桐松川

第71回 文化財防火デー



1月23日(木) 大洲七杵神社 (上新井)

1月26日は文化財防火デー

みなさんは「文化財防火デー」を知っていますか？
今から76年前の昭和24年(1949)1月26日、世界最古の木造建築物である法隆寺(奈良県)の金堂から出火し、至宝と言われた壁画の大半が焼損しました。この出来事は社会的に大きな衝撃を与え、文化財保護法制定の契機となりました。昭和30年(1955)には1月26日を「文化財防火デー」として定め、以降毎年この日を中心に貴重な文化財を火災・震災等の災害から守るた



大洲七杵神社境内に向かって放水する役場消防部

め、全国で文化財防火・防災運動が展開されています。

近年でも、令和元年(2019)にはバリのノートルダム大聖堂で火災が発生。その半年後には首里城(沖縄県)が火災で焼失しました。国民共有の財産である文化財を守り、後世に伝えていくためにも、ますます防火・防災意識の向上が求められています。

松川町でも毎年、教育委員会主催で、役場消防部、飯田広域消防本部高森消防署、文化財所有者が連携し、文化財所在地における消防訓練を実施しています。

地元中心に40名余り参加

今年度松川町教育委員会は、1月26日に控えた文化財防火デーに向け、23日午後到大洲七杵神社境内で消火訓練を実施しました。その日は薄日が射すものの肌寒い陽気でしたが、地元関係者を中心に40名余りが参加しました。このような訓練に、地元の方々が積極的に参加していただけることは、地域の結束を深めるためにも良い機会となります。

消火器による消火

消火訓練の一環としてまず行われたのは、消火器を使った訓練です。訓練用の水が出る消火器を使い、広域消防高森消防署の方々の指導のもと、地元の方々が操作経験の少ない方を優先して実施されました。参加者は5名ずつグループを組み、横列に並んで「火」と書かれた的を目掛けて放水しました。消火器の使用時には、「まず心を落ち着かせ気合を入れ、手前から消火。炎が身の丈を越えたら逃げる。」という基本的なポイントが大切だということです。しっかりと正しい使い方を身につけることで、万が一の際に迅速かつ的確な対応が可能となります。



火点に見立てた的に向かって

ピンキオで覚える使い方

- ① ピンを抜く
- ② ノズルをもつ
- ③ 栓よりを取る
- ④ レバーをひく





文化財愛護

守るる！地域の宝！

消火栓からの放水

次に行われたのは、松川町消防団の方による消火栓の操作方法についての説明でした。ホースの延ばし方からバルブの開け方まで丁寧に解説していただきました。地域の消防団との連携強化が、災害時における効果的な消火活動に繋がる重要な要素です。正しい手順を覚えることが大切だと、改めて認識させられました。



ホースの延ばし方



格納箱にはホースと専用の器具

消防ポンプ車からの放水

最後に行われたのは、消防ポンプ車からの放水訓練です。高圧のポンプを備えたポンプ車から勢いよく放水され、乾燥した境内の地面に水溜りができました。実際の消火活動において、このようなポンプ車の活用は初期消火に不可欠です。この放水では一般男女の方も筒先を実際に持って、その水圧を体験する訓練も行われました。



筒先を持って放水を体験する参加者



高森消防署からの講評

自助、共助で 文化財を守って行く

閉会式では、高森消防署から「自助と共助」が重要であることが改めて強調されました。自ら持っている力を合わせ、地域全体で協力し合うことで、危機に立ち向かうことができるということです。七相神社の宮下総代長は、一昨年の火災について触れ「ここは地形的に、一たび出火するとあつという間に本殿まで火の手が行く可能性があります。皆様と協力してこの文化財を守っていききたい」と語られました。上新井区の田村区長は「この地で開催していただいたことに感謝しています。また現在、大きな枯れ枝の落下が頻発し、その危険性が問題となっております。対策として樹勢の回復など区民と共に取り組んで行きたい」と話されました。

消火訓練を通じて、地域の絆を深め、災害に対する準備を整える大切さを再確認する機会となりました。今後も地域全体での協力体制を築き、安全で安心なまちづくりに向けて一層の取り組みが期待されます。

質の良い睡眠で健康に



第47回健康を考える集会

1月26日(日) えみりあホール



誰もが毎日“経験”する睡眠についてのトークは盛り上がりを見せた

夜、床にいたら朝まで一度も起きずに寝られる。そんな睡眠はとれていますか？
そこまではいいかなくても、質の良い睡眠はとりたいたいものです。

睡眠が健康に直結することは誰もがわかつていることだと思えます。しかし、眠りに対する悩みを持つ方は多いようです。前回の健康を考える集会では眠りの悩みに対しての声が多く出されました。そこで今回の健康を考える集会は「質の高い睡眠」をテーマに開かれました。

睡眠の悩みは、身体的なことが原因で眠れなくなった、心の健康状態が影響して眠れなくなったりと、原因は様々です。

事例発表では「心ある母さ

んの会」から睡眠について取り組んできたことが発表されました。

睡眠チェック、睡眠日誌をつけ、睡眠の質と生活・心の状態などを照らし合わせて自分の睡眠を調べました。ほかの参加者の皆さんの中にも事前に睡眠チェックをしてきた方がいて、事例発表を参照しながら自分の睡眠を確かめていました。

そして、睡眠の悩みや解決方法などについて、参加者が小さなグループに分かれて話し合いをしました。

寝る前にパソコンを見ない、お酒を飲むと睡眠の質が悪くなる…など、具体的な意見が多く出ていました。

良い睡眠には運動不足の解消も大切です。そこで運動についても学びました。

飯田市にあるLight up Gym（ライトアップジム）代表の今田貴之さんから、運動の方法を教えてもらい、実際に会場で腕や足を伸ばしたり回したりと体を動かしました。

また、町の保健師さんから



運動で良い睡眠を

も睡眠について話がありました。

よい睡眠も、やはり生活習慣予防と同じく、運動や食事など日頃の生活習慣が大切だということです。

寝る前の入浴は、ぬるめのお湯につかることを毎日続けると眠りを深くすることがわかっており、そうした具体例についても話がありました。よく眠れれば一日の活動が元気にできるとあり、睡眠は誰にとっても重要な生活の一部ですね。

問題
を考え
みんな
で
仲良
く
人考

中央小学校

4年生は、人権学習として、車いすホッケー日本代表の新津和良さんをお招きして体験活動を行いました。その時の感想をご紹介します。

車椅子ボールチャレンジに参加して

4年1組 小島 あみ

普通の車いすに乗った時は回転がむずかしかったけど、競技用車いすはまがりやすかったです。生活をするのに楽な生活用と競技がしやすい競技用は全然違うことが知れました。ボールチャレンジをして、1回目は、みんなの考えがバラバラだったけど、2回目で作戦を立てると、1点多くとれて楽しかったです。「相手の立場になって考える」ができた気がしました。新津さんのお話で「人生の『チャンス』を大事にする」ことでいいことがあるということを知れました。

新津和良さんのお話を聞いて

4年2組 高塩 心春

新津さんのお話では「みんなが工夫すれば、『できない』を『できる』に変えられる」ということと、「相手の立場になって考える」ということを教えてもらいました。この2つのことは、スポーツに限らず、コミュニケーションを取ることはとても大事な事

だと思いました。自分は今、習い事をしていて、5月のダンスバトルでは10人ぐらいでダンスをしました。その時にこの教わった2つのことをやっていたんだな、と思いました。最近もコンテストに出て、順位には入らなかったけれど、小さなチャンスを大事にできたと思います。新津さんは、病気がたつたから、この車いすホッケーに出会っていたからすごいと思いました。

車いすバスケット

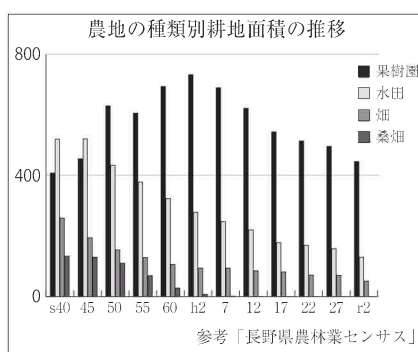
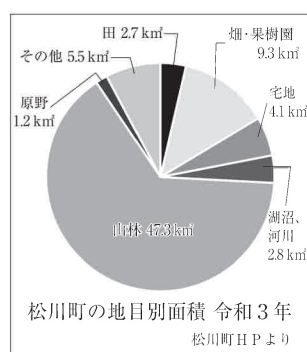
4年3組 矢沢ゆうは

車いすバスケットは思ったように動けなかったけど楽しかったです。車いすをつかっていている人は大変だと思いました。新津さんはたくさんのお話を「(プラス)」にして「チャンス」にしているのがすごいです。小さなチャンスがたくさんあれば大きいチャンスになる、と言って、確かにそうだなーと思いました。車いすバスケットは、相手のことを考えることと、友達や他の人と工夫してやれば「できない」が「できる」に変わることを教えてもらいました。車いすバスケットは、工夫すればたくさんゴールできて嬉しかったです。車いすでぐるぐるするのが楽しそうだと思ったし、車いすには色々な色があることも知りました。また、車いすバスケットをすることがあつたら、他の人のことを考えたり、他の人と協力したりしてやりたいです。

松川町の 土地利用について

～資料館だより～

2月3日から資料館のミニ展示として「松川町の土地利用について」という展示を行っています。昔からの私の趣味で全国の5万分の1地形図を集めることが好きでした。ただ地形図を集めても面白くないので買った地形図に土地利用の色づけをして、その地域を想像することに楽しみを持っていました。今回、資料館にお世話になり、松川の土地利用図を作ってみようと思い、役場の5千分の1の地図に色づけをしました。水田(■)、果樹園(○)、畑(▽)、桑畑(◇)、川、堤などをそれぞれ違う色で塗り分けて展示しました。土地利用図の良い点は、一目でどこが何に使われているかわかる、その場所の地形、水利と土地利用の関係がある程度わかる、どのような場所がどんな土地利用に適しているかがわかる



りやすい、年代の違う地図を用意すればその地域の変遷がわかりやすいなどがあげられます。松川町を塗ってみました。天竜川の沖積地である前河原、福与付近に水田が集中しています。松川ICのある平らから上片桐にかけて果樹園ばかりです。

水田面積の約3倍を果樹園が占めている町、長野県下で山ノ内町、小布施町に次いで3番目に果樹園の割合が高い町が松川町です。

今回の土地利用図からはわかりませんが、近年松川町の耕地面積はどんどん減ってきています。古い土地利用図と現在の土地利用図を比較すれば、どこでどのような変化が起こっているかわかります。減少の原因としては、宅地化の進行、農業の後継者不足から来る農地の遊休化、放棄などがあると思われますが、新旧2つの土地利用図が比較できれば、一目でわかるはず。このように土地利用図を分析することで地区の抱える問題点や課題も明確になってくるとともに、今後の土地利用の計画を立てていくのにも役立つのではないのでしょうか。

今回、松川町の他に全国の特産ある土地利用の地域と一緒に展示してみました。畑作が卓越している北海道や沖縄、水田ばかりの新潟、果樹ばかりの青森、家系かない東京など、地図から思いをはせるのもまた楽しいと思いませんか。ぜひ、資料館でその一端を見ていただきたいと思います。今月いっぱい展示は終わりますが、興味ある方は声を掛けていただければいつでもお見せ致します。

(松川町資料館 中島裕治)

スポーツ

名子

1月26日(日)町民体育館アリーナで名子地区公民館卓球大会が開かれました。
結果は次の通りです。

フリーりんの部	優勝 宗源原
準優勝	北垣外
フリーなしの部	優勝 南方A
準優勝	下垣外西部A
女性団体	優勝 なでしこジャパン(宗源原)

部奈

1月26日(日)部奈地区冬季スポーツ大会開基ボールが開かれました。
結果は次の通りです。

優勝	第2自治会
準優勝	第4自治会
3位	第1自治会
4位	第3自治会

古町

1月26日(日)古町自治会対抗開基ボール大会が開かれました。

準優勝 北垣外

結果は次の通りです。

優勝	古町南部
準優勝	古町中部
3位	古町東部
4位	古町北部

上片桐

1月19日(日)上片桐地区公民館の冬季スポーツ大会モルック(室内)が開かれました。
結果は次の通りです。

優勝	諏訪形B
準優勝	大栢A
3位	大沢南部A



中央小学校

うれしいお年とり

2年1組 宮下 五葉

今日は、おじいちゃんとおばあちゃんの家で、お年とりをしました。こちそうがいろいろでした。私の大好きなカレー飯の子やぶりやおそうじがありました。食べたいと思ったカレーが、お兄ちゃんと同じだったの、と、いになつてしまふほどおいしかつたです。やっぱり力二が



一番おいしくて、とても、しあわせでした。みんなでお年とりができてうれしかったです。

いい田だいもりおがきよつ

2年2組 よし川 こうせい

いい田高校のラグビーの試合をおうえんするために、大さかへ行きました。朝4時に早おきして、お父さんと弟といっしょに、大きなバスにのって行きました。し合は24だい26でした。いい田高校ラグビーはんは、あい手をおすのがとても上手だつたけど、まけちゃいました。



おながいつばい

1月1日 2年3組 知久 峻咲

今日、じいじのお家におもちを食べに行きました。ばあばに「おそつに」にしてみたいました。「おそつに」には、おもちやかまぼこ、やさいも入っていました。おもちが1こ入っていたけど、大きすぎて、おなががいつばいになつて、おかわりができませんでした。おもちがひよくんとおびながつたけど、おいしかったです。



中学校休日部活動廃止にともなう

松川CLUBの活動について

【休日の部活動が無くなります】

国の指針により、休日の部活動が令和7年度末で廃止となります。

中学生は土日が空き、自由時間となります。休んでもいい、遊びに行つてもいい、選択の自由がある中で、町では中学生の休日活動の場を町・地域で用意していきたい、という方針です。

【新しい地域クラブ(松川CLUB)が始動しています。】

国の実証事業を活用し、1月からモデルとなるクラブが始動しています。現在5つのクラブが登録されており、うち3つが実際に土日の中学生を受け入れ活動しています。

【これまでの経過】



QRコード参照
町HPよりご確認
いただけます。



【クラブ説明会を開催します】

実証事業2年目となる令和7年度に向けて、モデルとなるクラブを募集します。

令和7年度

松川CLUB活動説明会

△日時▽ 3月4日(火)

19時～20時

△会場▽ えみりあ2階ホール

○スポーツ・文化・レジャー系など内容に制限はありません。

○活動日程や指導回数など、団体の自主性を重要視します。(国が示す中学生期の活動指針に準拠してください。)

○松川CLUB登録団体には活動に応じた指導者謝金と保険を付与します。

○制度の都合上、受益者負担として会費をいただきます。

お問合せ先…
部活動について、

学校教育について

TEL 361-7023

松川CLUBについて、

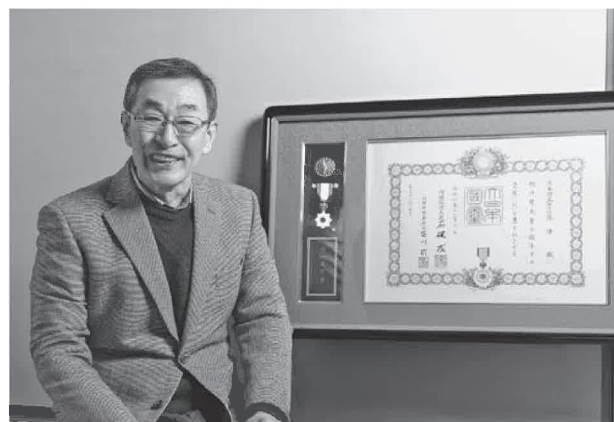
社会教育について

TEL 361-2622



旭日双光章

深津 徹さん（本町）



この度旭日双光章を受章された深津さん、今回の受章の感想と町長を2期8年務められた当時の思い出をお聞きしました。

皆さん、職員の協力のおかげで今回の栄誉をいただけたと思っております。本当に感謝しかない。」と感謝の言葉を重ねられていました。

そんな深津さんは江戸時代の儒学者、広瀬淡窓の漢詩の一節「君汲川流我拾薪」を座右の銘に、協働によるまちづくり、松川町に住んでよかったと実感のできる町を目指して積極的に動いてこられたそうで、松川町のPR、町民目線での明るい役場づくり、大型事業であった名子中央保育園、公民館「えみりあ」、宮ヶ瀬橋

等の建設に取り組まれてきたそうです。また地域の懇談会等にもできる限り顔を出して、直接住民の声を聴くことを大事にしていたそうで「それが自分の財産」と笑っておられました。

現在、お店のほうは息子さんに任せて、スポーツクラブに通ったり、ご家族との旅行などを楽しんでいられるそうです。町長時代と変わらさずお元気で、気さくにお話を聞かせていただきました。



俳句

除夜の鐘 亀山 勝保（名子北部）

墨象を掛けて添えるや白椿
玄の冬棟方志功のモノクロぞ
枕辺に摺りあぐ版画除夜の鐘
秃筆やそれぞれの顔去年今年
氷瀑のオブジェとなりて静まるる

情報

資料館企画展 懐かしの昭和展 第2弾 わが家、わたしの昭和展～

資料館では、昨年夏の昭和展第1弾に続き、第2弾「わが家、わたしの昭和展」を開催します。町内外の方から懐かしい昭和の品々をお借りして、持ち主の思い出とともに展示します。

展示品も2月末まで募集中！詳しくは資料館へお問い合わせください。

期 間 令和7年3月1日(土)～3月31日(月)まで
開館時間 10:00～17:00（水曜休館）入館無料
問い合わせ先 松川町資料館 ☎34-0733



2024年狼煙リレー 大声大会の様子



先月、えみりあギャラリーにて展示をしてくださいました宮下明子さんにお話を伺いました。

15年程前に中川村に移住した時から狼煙リレーの実行委員として活動をされ、その様子をまとめたものを毎年の中川文化祭に出展されています。2024年はどんな内容にしようかと考えていたところ昨年9月に行われた武田信玄狼煙めぐりで、松川町の「台城今昔物語」という紙芝居に出会いました。今回は武田信玄が築城した大島城にしよう!!と決め、中川村文化祭に出展したものをえみりあでも展示していただきます。



明子さんが言われるには、台城は信玄独特の築城術が現代でも見ることが出来る大変貴重な場所だということです。明子さんだけではなく、以前テレビでタモリさんが「身震いするほど武田の城がそのまま残っている」と絶賛していたり、城郭研究家の宮坂武男さんが「この城跡は武田氏が長野

信玄狼煙りレーと 武田流築城術が残る 大島城跡（台城）の魅力

中川村 宮下明子さん

武田流築城術のポイント紹介

県内に遺した屈指のもの。町史跡にとどめておくものではない」と評価していたりするほどです。明子さんは、特に三日月堀りは後世に残してほしいとおっしゃっていました。

ちなみにタモリさんのお話は、遠くに暮らす娘さんが近くの松川町の城跡のことを絶賛しているテレビを見てわざわざ知らせてくれたそうです。展示を拝見すると、小さなお子さんにも親しみを持ってもらえるように顔出しボードをご主人と手作りされたり、クイズで難しい用語を解説したりと工夫が満載の内容ですが、写真は保護者の方や役場の方々からの提供でたくさんの方との交流があつてこそ、あたたかみ溢れる作品でした。

歴史街道を歩くことも好きで各所に向かわれているとのこと、取材後も台城へウォーキングに行くと帰っていかれました。



公民館報
「まつかわ」
第735号
令和7年2月15日

発行所 松川町公民館
責任者 山崎 隆
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@town.matsukawa.lg.jp

飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷株式会社

再生紙を使用しています。

子どもの成長は早いもので、いつの間にか姪っ子が2歳半になっていました。だんだん言葉がしゃべれるようになり、なんとなく会話もできます。大人が言ったことをそのまま言ってみたり、大人がしゃべっていると「なににな?」と急に割り込んでくるいろいろなことに興味深々です。歌を歌うのも大好きで、あなたがたどこさやアンパンマンなど、家族で歌を大合唱しています。

皆さんはミニモニ二って知っていますか? モーニング娘だった辻ちゃんや加護ちゃんからなる4人組ユニットです。ある日姪っ子が私の部屋でミニモニの本を見つけてきました。本に載っている曲を歌ってあげたら、私のところにつもその本を持ってきます。簡単なフレーズはすぐに覚えてしまい、今では一緒に歌うぐらいミニモニにハマっています。メンバーがアニメのキャラクターになつていて、私は映画を見に行くぐらい小学生の頃は大好きだったのでとても懐かしい気持ちで姪っ子と一緒に遊んでいます。

(原 美保子)

こころ草